

新任薬剤師研修会を終えて

東京医療センター 薬剤部 長山 佳之

出身大学：帝京大学（平成28年）

興味のある分野：がん、感染、緩和領域

私は、平成28年4月1日より東京医療センターに配属になりました。最初は様々な不安をかかえつつ勤務を始めましたが、先輩方に丁寧にご指導いただき不安が期待や希望へと変化した頃に、第20回新任薬剤師研修に参加させていただきました。

研修前半では、先輩薬剤師の先生より「医療安全とは—安全を守るためにできることから考えよう—」という講義を受けさせていただきました。まず初めに驚いたことは、安全は存在しないことです。ここ最近では医療安全という言葉は当たり前に使われており、実践できているものだと思っていました。しかし、講義を聞いていくにつれ医療安全を確保することは大変難しく、最後の勝利なき長期のゲリラ戦のようなものだということが理解できました。病院は様々な患者が来院され、多くの職種が関わり、とても人の入れ替わりの激しい場所です。すなわち、いつどこで何が起こるか、何処に敵が潜んでいるのか不明なのです。とは言っても、医療安全を守らなくてはならないので、それに必要なことも学ぶことができました。例えば、先入観を持つことをやめ、人は誰でも間違えるという前提を忘れないようにすることや個人で努力できることには限りがあるので情報の共有を行うこと等です。どれも今後の業務において大切なことばかりであり、これから徹底して行っていきたいと思います。

研修の後半では、医師の先生より「チームSTEPPS」という議題で途中グループワークを挟みながら受講させていただきました。まずチームSTEPPSの基本原則としては、チーム体制、コ

ミュニケーション、リーダーシップ、状況モニター、相互支援があります。印象深かったのは、「隣の方と指相撲を行い30秒間にできるだけ多く勝ってください」というもので、私は隣の方と争うものだという認識で行いました。もちろん2回ほど自分が勝利しただけでした。しかし、争えとは言われておらず、どちらかが相互支援をして譲り合えば50回程勝利したと思われます。

次に印象深かったのは、6人程のグループで出来るだけ紙やハサミ、のり、セロハンテープ等を使い、5分間にどれだけ多くの輪を作り繋げられるかというものです。3回行いましたが、1回目は制限なし、2回目は会話不可、3回目は会話不可+片手だけという条件が課されていきました。私は評価者だったので作成することはなかったですが、客観的にグループを見ることができました。まず各自がチーム体制を作るためにリーダーシップを発揮しつつ役割分担を行いました。その後会話やジェスチャーでコミュニケーションを取り合い、時には状況をモニターし、他の役割を手伝う等相互支援を行っていました。STEPPSの基本原則に沿ったグループワークだと感じました。それと同時にチーム医療ではSTEPPSは重要であり、これから実践していきたいと思いました。

その他にも書ききれない程様々のことを学ぶことができました。そして研修後には情報交換会も開催していただいたので、様々な同期や上の先輩方と交流を深める事ができ、とても充実した新人研修会になりました。

最後になりましたが、今回の研修会に携わっていただいた先生方に心より感謝申し上げます。